資料１

議題１　ゾーン30プラスの取り組みについて（一宮市提出）

市名	回答	
	（１）今後の取り組み方針	（２）特色ある安全対策事例
名古屋市	本市におきましてもゾーン30プラスについては、生活道路の速度規制３０ｋｍなど新たなフェーズに入ったと感じつつも、引続き要望に対し必要に応じて実施してまいります。	本市でのゾーン３０プラスについて、特色あるような事例はございません。
豊橋市	本市では、「ゾーン３０」については７地区で設定して今後も継続していきますが、「ゾーン３０プラス」の区域設定に関しては、施行令改正による生活道路の速度規制の効果を注視し、速度が守られないなど対策が必要な箇所があれば、警察や地域住民と連携し「ゾーン３０プラス」も含め検討していく方針です。	「ゾーン３０」設定路線に、イメージハンプの路面標示や車道幅を狭くするためのラバーポール等の設置は行っていますが、特色ある安全対策事例はありません。
岡崎市	新たなゾーン30プラスの設定は予定していない。	地元からの安全対策要望に基づき、警察と相談のうえ、センターラインを抹消し、路側帯を拡幅する対策を行った。加えて、センターラインが無くなることで、優先、非優先の判断が難しくなるため、非優先側の開口部にドットラインを設置した。
一宮市	議題提出市	議題提出市
瀬戸市	生活道路における法定速度変更により、まずは交通状況や地域要望等に変化があるかを当面注視していく予定です。	一般的な対策を実施しており、特筆するものはありません。
半田市	ゾーン30プラスを推進していく考えはないが、地元からの要望に応じて検討していく。	特になし。
春日井市	改正道路交通法の施行に関わらず、従来どおりの取り組み方針 (物理的デバイスの設置に積極的ではないが、安全対策としてやむを得ず、沿道住民の同意等あれば実施)	速度規制と合わせたハンプや狭さくの設置
豊川市	これまでゾーン３０プラスの施行実績がなく、現時点で計画もないため、今後、通学路安全プログラムや地元等から要望があれば警察と連携し検討してまいります。	ハンプや狭さくについては騒音や段差等の苦情が想定されるため、基本的には路面標示で対応しています。
津島市	津島市では2地区指定しており、今後も地元町内会からの要望に基づき、津島警察署などの関係機関と連携し、適切な交通安全対策を行っていく。	無
碧南市	今のところ予定なし	交通事故多発箇所などにカラー塗装をするなどの一般的な安全対策しかおこなっていない
刈谷市	整備予定なし。	特になし。
豊田市	自治区からの要望に基づき、ゾーン３０プラスの必要性がある場所において、導入地区を拡大していく。	安全対策は、狭さく、路面表示、カラー塗装等を行っています。 ※参考：豊田市においてゾーン３０プラスを導入した４地区（https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/syokai-jirei-chubu.html#area-heading）に掲載されております。
安城市	該当無し	該当無し
西尾市	特にありません	特にありません
蒲郡市	今のところ、ゾーン３０プラスの今後の取組み方針はありません。	特色のある安全対策事例はありません。
犬山市	当市におきましては、法改正による速度抑制に加え、交通安全施設の整備や交通安全啓発など、既存施策を実施することで、生活道路の安全確保を図っております。 今後、「ゾーン３０プラス」を実施することで、道路利用者の利便性に影響が出ること、追加的なコストが発生することが想定されることから、現時点では、「ゾーン３０プラス」を新たに設定する予定はありません。	特になし。
常滑市	本市のおいては、現在「ゾーン30」及び「ゾーン30プラス」の区域指定はありません。今後、他市町の取組や事例を参考に検討します。	特になし
江南市	生活道路の法定速度引き下げもあり、現状では新規にゾーン30の区域設定をする予定はありません。	特にありません。
小牧市	未定です。	特色のある事例はありません。
稲沢市	当市においては、「ゾーン30プラス」への取り組みはありません。今後、推進する計画もございません。	特にありません。
新城市	予定なし	なし
東海市	計画しているものはありません。	特色ある事例について該当ありません。
大府市	本市では、令和５年度に２地区でゾーン30プラスを整備しました。生活道路の法定速度引下げ後も、速度規制だけでは十分な効果が期待できない箇所については、必要に応じてゾーン30プラスの整備を検討します。	本市の特色としては、スマホアプリの運転データを活用した「ユリカゴプロジェクト」に令和４年度から取り組み、危険箇所を抽出し、令和７年度までにイメージハンプなど11か所の交通安全対策を実施しました。
知多市	本市では「ゾーン３０」を２地区で設置しています。現時点では「ゾーン３０プラス」の実施の予定はありませんが、地区の状況を注視し、地域住民から「ゾーン３０プラス」への更なる対策の要望等があった場合については、導入について検討します。なお、新規導入地区の予定はありません。	本市において、過去に区画整理事業（区画整理組合施工）の際に、あらかじめ狭窄を設置した道路築造を実施した地区があります。

議題１　ゾーン30プラスの取り組みについて（一宮市提出）

市名	回答	
	（１）今後の取り組み方針	（２）特色ある安全対策事例
知　立　市	ゾーン30プラスの対策を実施する予定はありません。	プローブ情報を活用し交通の実情をデータで実証し対策を実施した事例があります。
尾 張 旭 市	本市では、令和6年に「尾張旭市生活道路整備基本計画」を策定し、安全性・快適性の向上を目的とした道路環境整備を進めるため、暮らしのみち整備地区を指定し整備を行っている。今後も、新たに整備地区を定めてゾーン30プラスの整備促進を図る。	暮らしのみち整備地区に指定した「庄中南地区」について、令和7年度から令和8年度にかけて、地域住民等と整備内容について協議を行い、地域特性にあった道路環境の整備を行っている。
高　浜　市	本市では現時点で、「ゾーン30」「ゾーン30プラス」の設定されている区域はなく、設定する計画もなし。	無し
岩　倉　市	当市におきまして、ゾーン30の整備も無く新規の取り組み等はありません。	特色ある事例ではないが、県や警察と連携し、カラー塗装、ラバーポール、巻き看板を組み合わせ、ドライバーにできるだけ視覚的に目立つデザインを採用するようにしています。
豊　明　市	具体的な計画はありません。	無
日　進　市	学校や地元要望等により、警察と協議して、学校周辺区域を対象として区域設定しています。	対象なし
田　原　市	なし	なし
愛　西　市	現在、取り組みがありません。	ありません。
清　須　市	生活道路における法定速度が30㎞毎時に引き下がることもあり、ゾーン３０及びゾーン３０プラスの新規設定の予定はなく、今後地域の要望等があれば協議を進めていく予定である。	ゾーン３０（古城小学校）、通学路におけるグリーンベルトの設置、交通量の多い生活道路におけるイメージハンプ等のカラー舗装
北名古屋市	特になし	特になし
弥　富　市	本市においてはゾーン30プラスの設定はしておらず、現時点においては今後も設定の予定はありません。	通学路に指定されている道路の路肩部や事故が多発する交差点部をカラー舗装の実施
みよし市	特に方針に変更はない	ゾーン30や区域に関わらず、個別に路面標示やハンプ等によって安全対策を進めています
あ　ま　市	現状要望もなく該当する箇所もないためゾーン３０プラスの設定予定はない。通学路を中心に警察・学校・教育委員会・道路管理者で連携し、必要な対策を進める。	警察・学校・教育委員会・道路管理者で通学路安全推進協議会を組織し、合同点検を行い対策を実施している。
長久手市	特になし	特になし